

①

私はディレクトフォースで三菱商事さんの企業へ訪問し質問をしてきた。外国への出張経験がある方と日本と外国との価値観の違いというお題でディベートを行った。自分は海外に行った経験というのがなく他の方より外国人との交流を基にした話は出来ませんでした。しかし、ディベートに参加して多くのことを学べた。たとえば、日本と外国のの食に対する意識の違いであったり、外国と比べて日本は曖昧に答えてしまうということだ。他には高校生の時に培う力ということについてのディベートをした。ディレクトフォースの方は高校生の時に様々な力を培うには多くのことを経験することだという。様々な事に挑戦するべきである。ぶかつであったり勉強以外の事も経験したほうが良いそうだ。

②

私は企業大学訪問で東京工業大学の伊原研究所へと訪問させて頂いた。伊原研究所では太陽電池や燃料電池の研究を行なっているところである。実験室を見学させて貰ったり、様々な質問に答えていただいた。研究所の見学では効率の良い太陽光パネルや燃料電池の研究を行い、実用化を目指した研究の説明を聞かせて貰った。その後には大学生活の事や高校生の時の事を質問した。まず、研究に必要な能力とは絶対な正解というのが無いものに対して目標を立て計画的に実行できる力。自分で考え実行できる力。研究のやり甲斐は、大変な実験をしていき少しずつでも成果が出てくること。そしてその成果を学会での発表で認められ賞がもらえた時。高校でやったほうが良いことでは、部活動のような勉強以外のことであるそうだ。勉強とそれ以外のことをやることで切り替えが出来るようになる。それに、やりたいことや趣味を持ち勉強以外にも熱を入れられるようにし、濃い人生をとおくれるようにするべきだ。成績の為、部活を途中で引退する人がいたそうだが、辞めたところで変わらなくむしろやめないほうが良いらしい。東京工業大学の魅力とは進学振り分けがあり一年生の時は全員同じ授業を受け、二年生から細かく分かれていく。東京工業大学に入学して一年間興味のあることを探すことができるということだ。その一年間で興味のあることをたくさん触れることができる。他にも東京工業大学に魅力がある。東京工業大学に限ったことでは無いが優秀な人が多く研究に対して意識が高い人が多い。そして個性的な人も多く楽しいそうだ。

③

OBOG による懇談会では二人の二高出身の先輩がかと話げできた。高校生の時の勉強の話や東京大学についての話や質問をした。同じ仙台二高出身でありより身近に感じるこげできた。東京大学とは東京工業大学と同様進学振り分けがあり入学してから自分のやりたい分野を見つけるこげできるというのも魅力だそうだ。東京工業大学への企業大学訪問の時と同じように成績が良くなく部活を辞めて成功はしないと云っていた。むしろ辞めて後悔している人もいた。じぶんも今運動部に所属しているが辞めたくはない。

④

東大見学会では主に理学部を見学した。東京大学に着きまず初めに感じたことはいつも写真や映像でしか見ることしかなかった赤門や安田講堂の迫力に驚いた。これが日本一の大学なのだとか大きなものを感じた。オープンキャンパスに参加して初めて東京大学に行き、この大学がどういふものか感じるこげできた。自分は工学部志望でありオープンキャンパスの学部紹介にも参加した。東京大学の工学部は学部間を超えて連携するそうで、例えば医学部と連携し、分子レベルの工学をおこなっている。